

第47回衆議院議員総選挙に関するアンケート

概要

平成26年12月14日執行の第47回衆議院議員総選挙において、投票行動や啓発などに関するアンケートを実施しました。

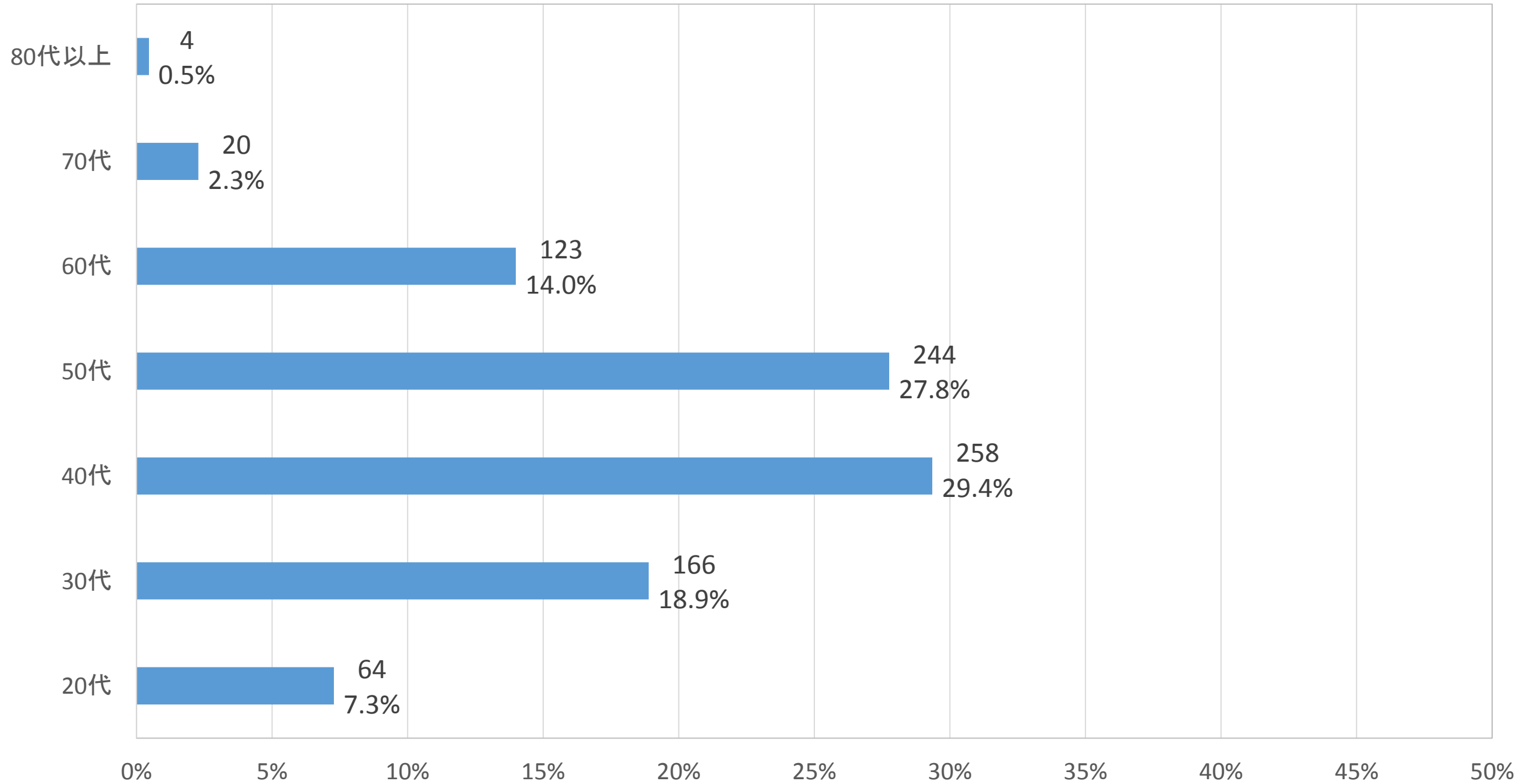
アンケート実施期間

平成27年1月26日～平成27年2月16日

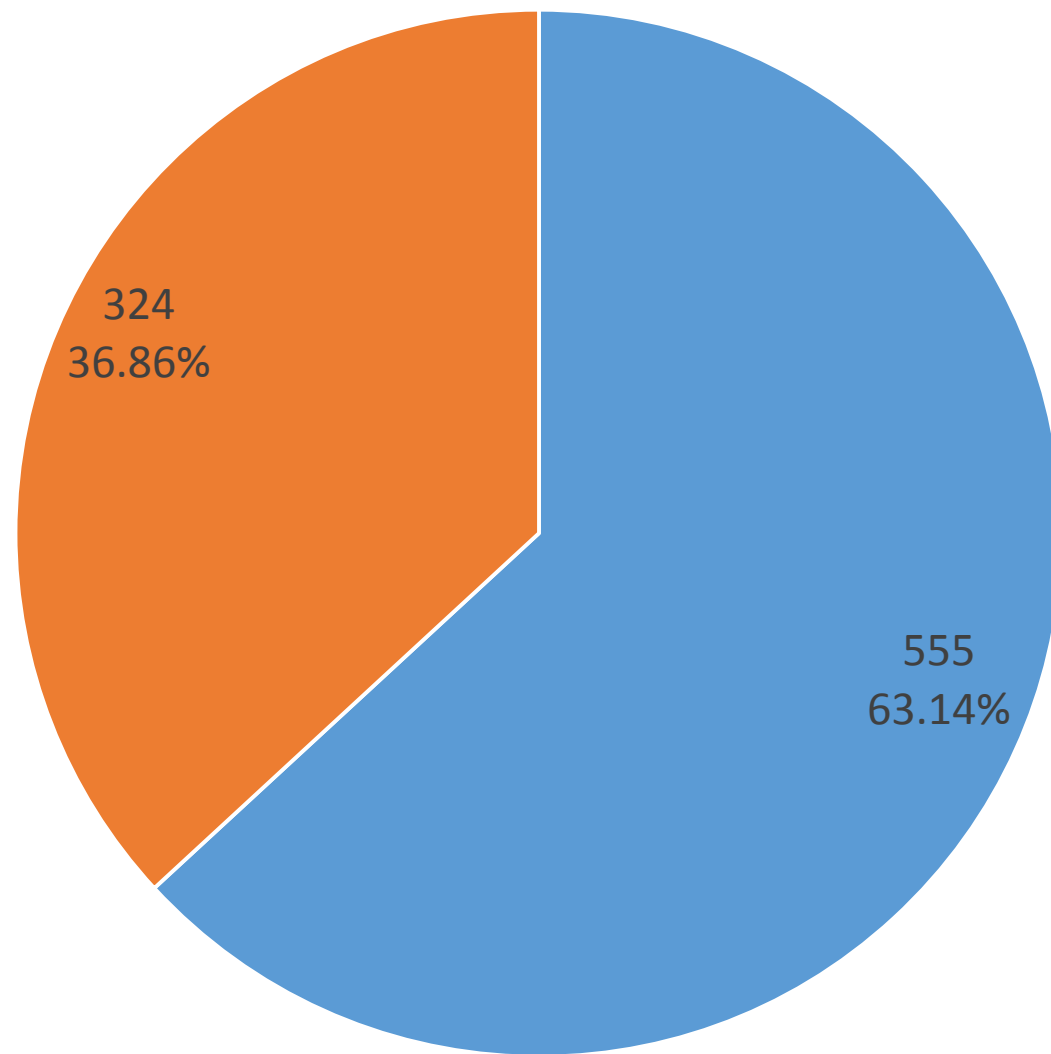
アンケート回答者

県内及び県外在住の20歳以上の男女 879人
(青森県ウェブアンケート「あおもリサーチ」登録者)

Q1 あなたの年齢を教えてください。

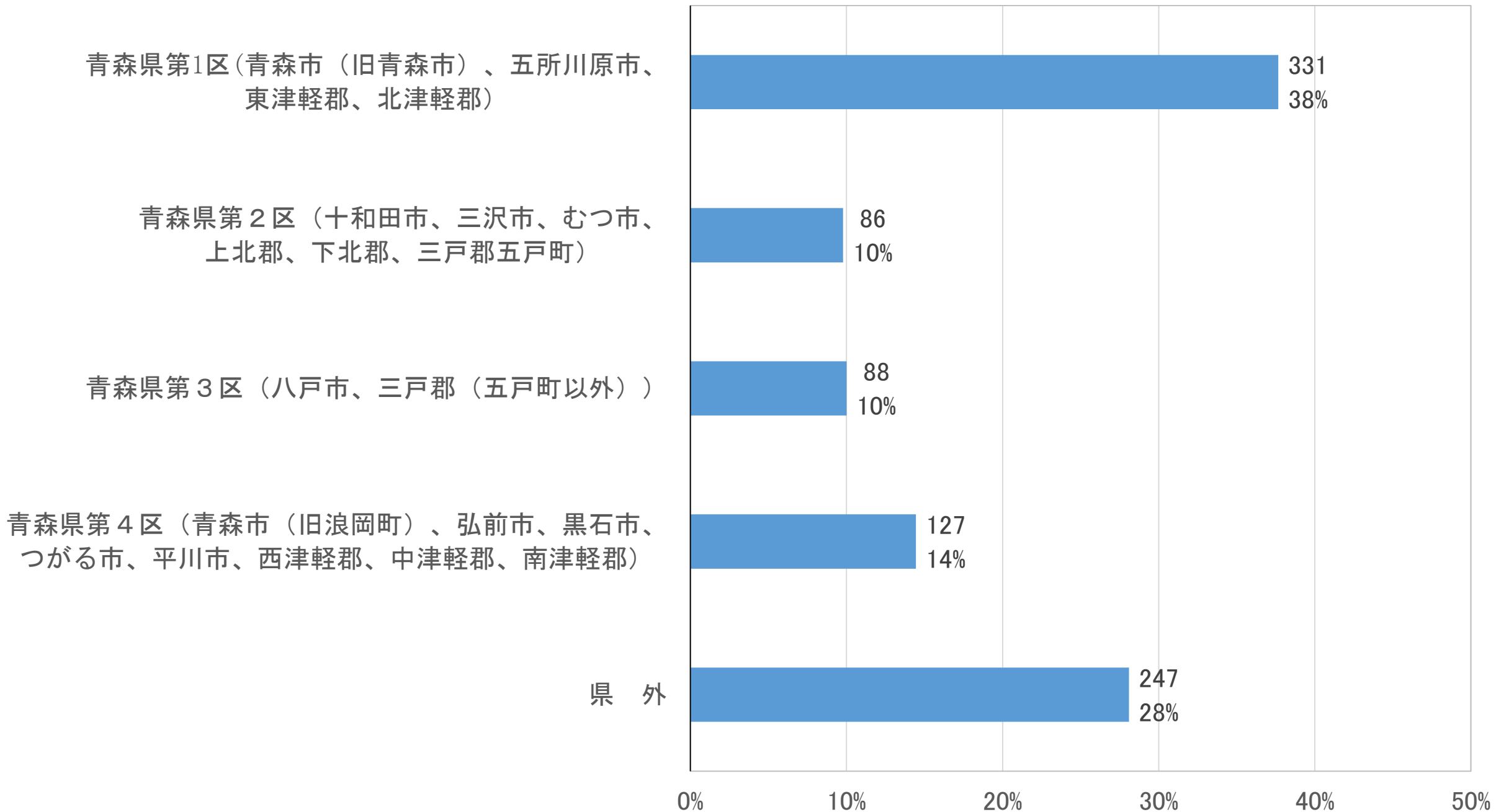


Q2 あなたの性別を教えてください。

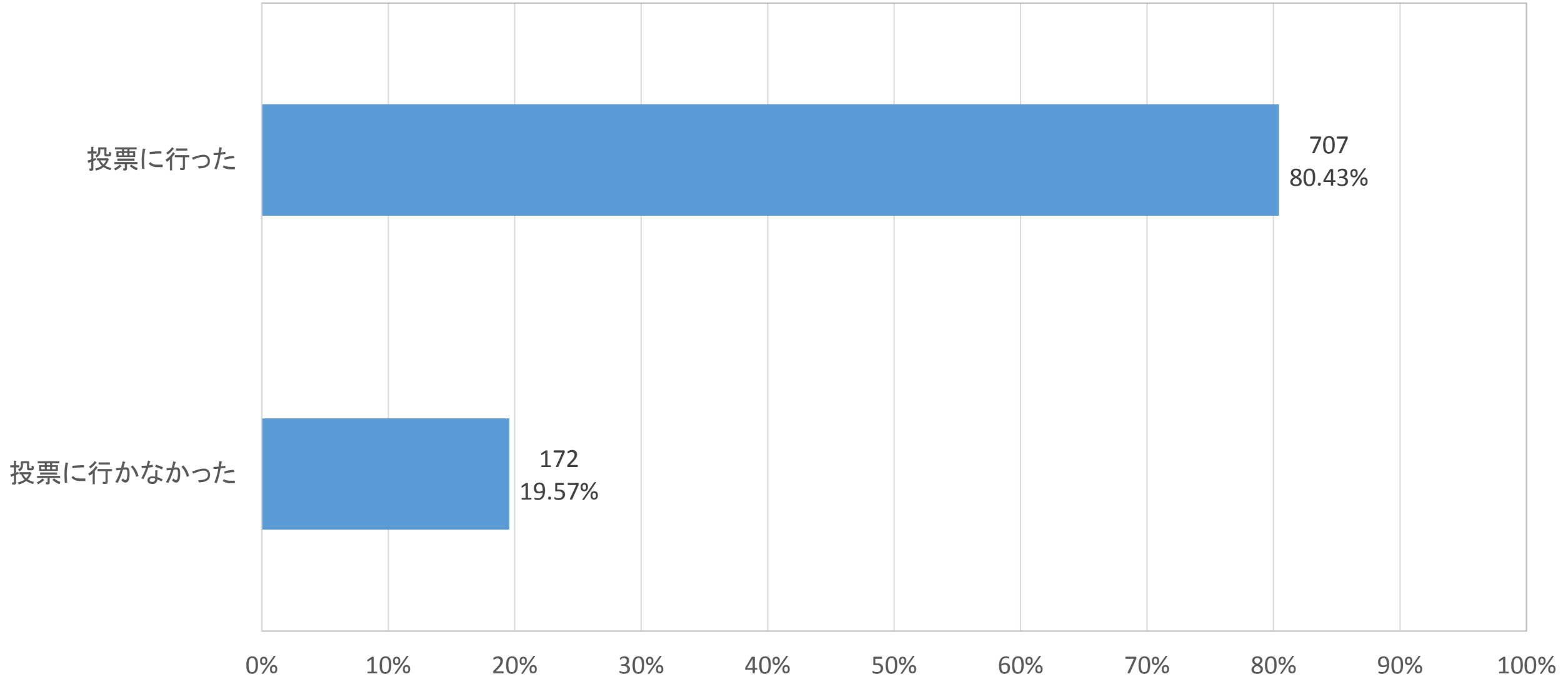


■ 男性 ■ 女性

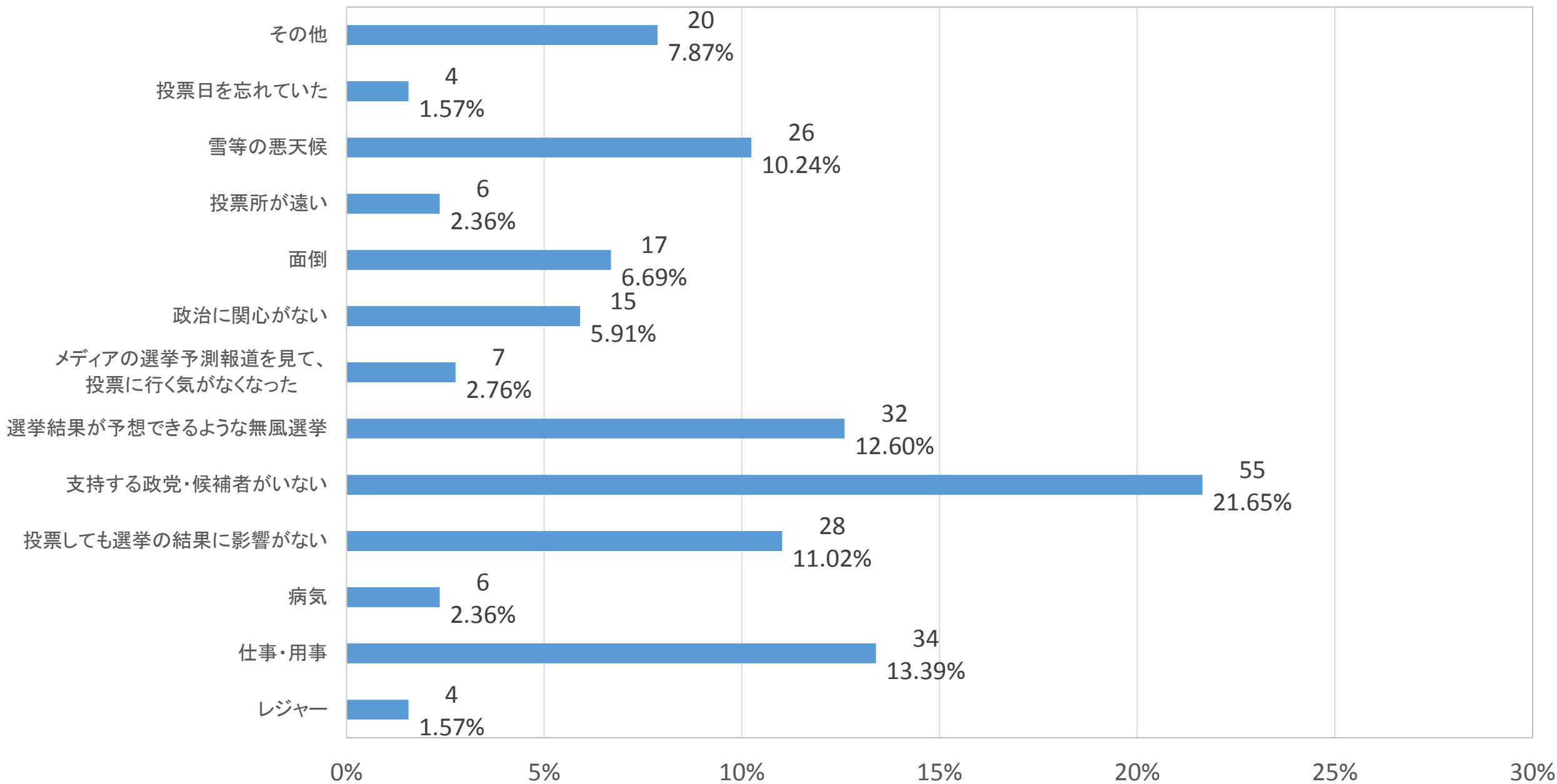
Q3 お住まいの地域を教えてください。



Q4 昨年(平成26年)12月の衆議院議員総選挙で投票に行きましたか。



Q5 Q4で「投票に行かなかった」と答えた方に質問します。投票にいかなかった理由はなんですか。
最も当てはまる理由を下から選んでください。(2つまで)



Q6 Q5での回答「その他」の内容について(抜粋)

投票所が遠く、車がないため。

大雪で外出したくない。

住所地の選管に投票証明書を発行しないと言われたから。

子育てに忙しかった。

出張のため。

引っ越してきたため、新住所地で投票出来なかった。

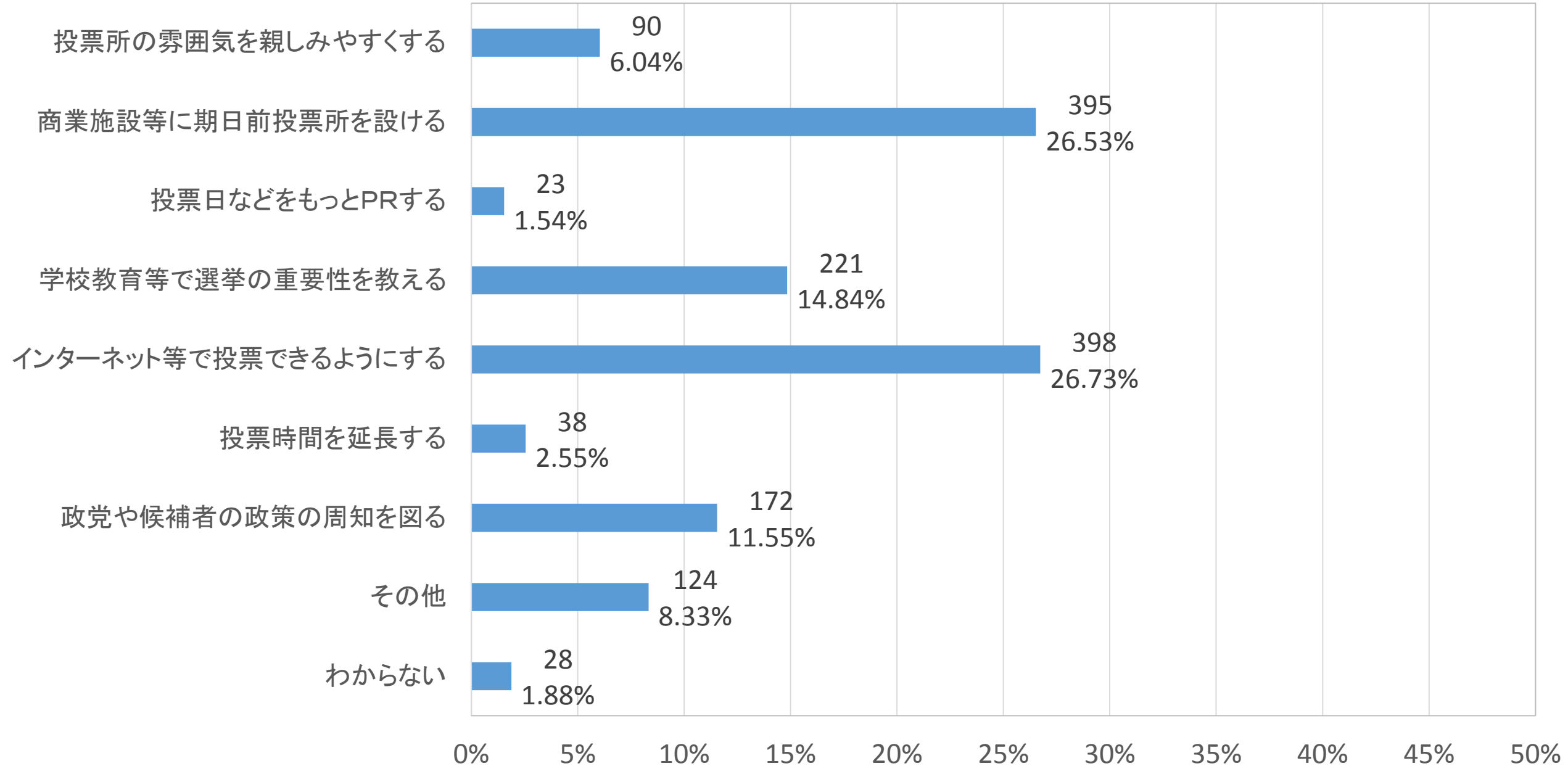
あまり関心がない。

いつも行かない。

選挙結果が予想できるような無風選挙。

日曜日に外出したくない。

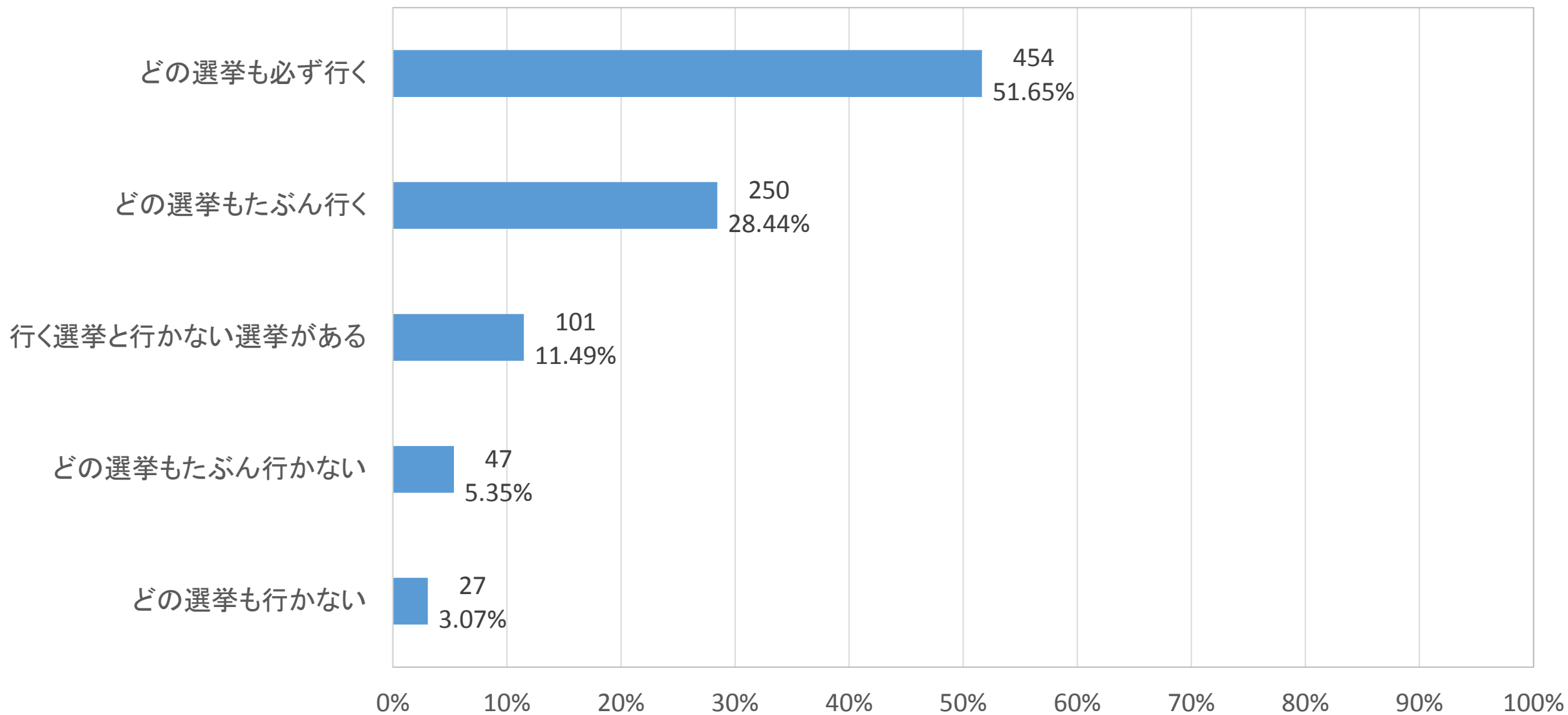
Q7 投票率を向上させるためにどのようなことをすれば良いと思いますか。
最も良いと思う方法を2つ選んでください。



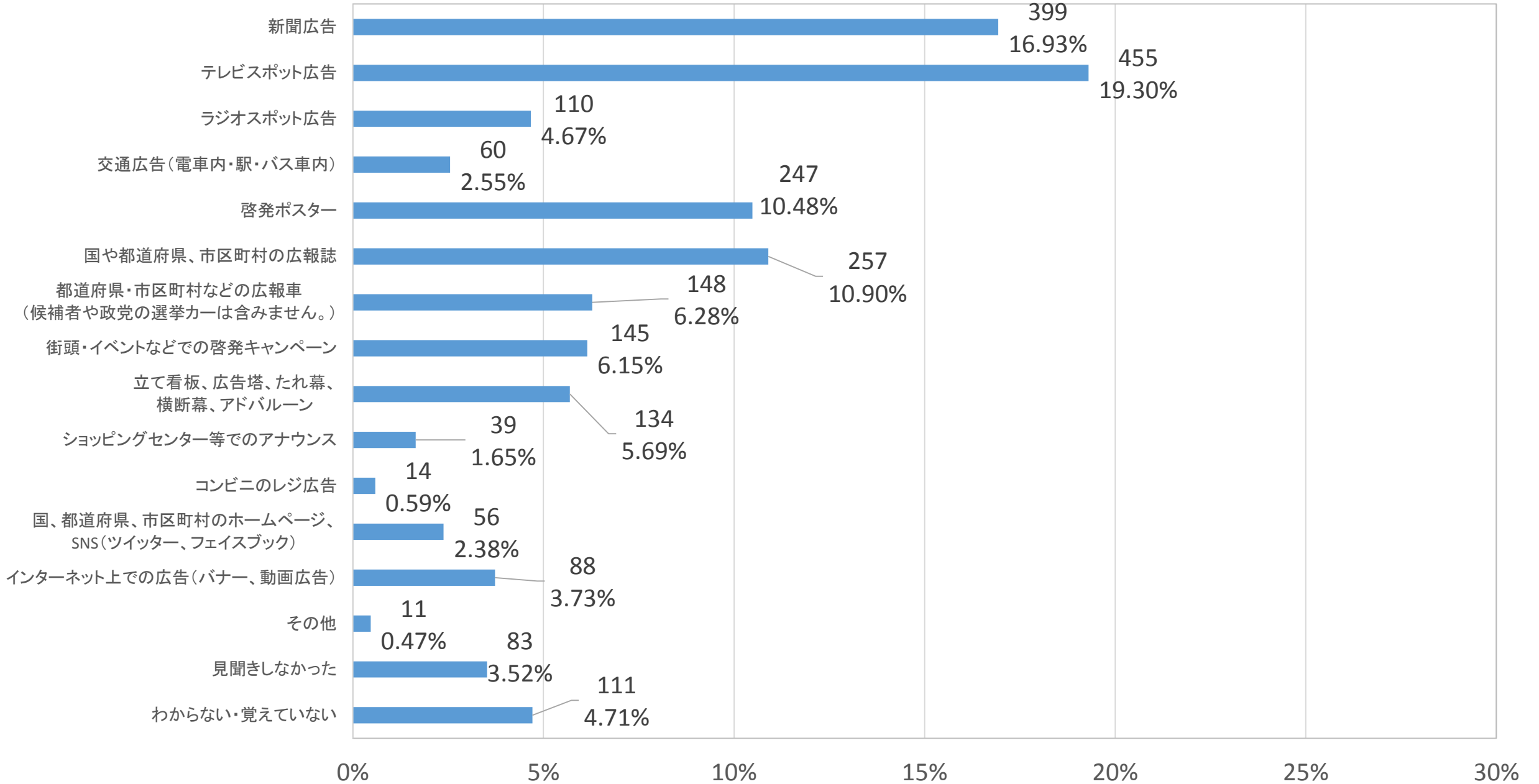
Q8 Q7での回答「その他」の内容について(抜粋)

- 大型商業施設や駅に期日前投票所及び投票所を設置する。
- 投票所を増設する。(高齢者等は雪道を歩くのが困難なため。)
- 高齢者や身体の不自由な方にやさしい投票所にする。(土足でOK、段差のない場所)
- 投票しないことに対するデメリットをPRする
- 投票することによっての利点を設ける。(投票した人に税金控除、)
- 選挙制度の改善が必要。(投票の義務化、インターネット投票、罰金制、)
- 効果のある主権者教育のプログラムをつくる。
- 投票休暇や職専免の制度をつくる。
- 若い人がもっと目をひくような周知をする。(選挙の仕組み等)

Q9 今後、県議会議員一般選挙、県知事選挙、参議院議員通常選挙などの選挙が予定されています。
あなたは、今後の選挙で投票に行きますか。



Q10 昨年(平成26年)12月の衆議院議員総選挙で総務省や都道府県・市区町村の選挙管理委員会及び明るい選挙推進協議会等が「投票に行きましょう」という呼びかけを行いました。次の中で見たり聞いたりしたのがありますか。あればすべて選んでください。



Q9 選挙管理委員会や明るい選挙推進協議会では、「投票に行きましょう」という呼びかけを行いました。次の中で見たり聞いたりしたものがあればすべてお答えください。

